

2025年4月1日

住友生命保険相互会社

2025年度 新入職員向け社長あいさつ（要旨）

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、本日404名（総合キャリア職員142名、ビジネスキャリア職員99名、総合営業職員163名）の新入職員を迎えました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

■住友生命の歴史 ～住友生命の不変の存在意義と、住友グループの事業精神～

当社のルーツである日之出生命は1926年に「住友生命」へと社名変更をした。今年在住友グループ入りをしてから100年目、社名変更してから99年目という節目のタイミングである。

当社において最も大事なことを明文化した「経営の要旨」の第1条には、「社会公共の福祉に貢献する」というパーパス、すなわち住友生命の不変の存在意義が掲げられている。

また第3条にある「進取不屈」という言葉は住友生命ならではのもので前例や常識に囚われない柔軟な発想で、常に新しいことに挑戦する、という想いが込められている。

住友生命は長い歴史の中で挑戦を重ね、未来を切り拓いてきた会社である、ということをお忘れずにこれから活躍いただきたい。

■「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現に向け、一人ひとりが「つながり」、「ひろげる」ことで「先へいく」1年に

「住友生命グループ Vision2030」では、2030年のありたい姿を「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」と定めている。Vitalityを核として様々な取り組みをひろげているが、これからさらに先へいくために忘れてはいけないことが社会からの「信用・信頼」の大切さである。

「経営の要旨」の第2条には「信用を重んじ確実に旨とする」とある。一人ひとりが会社の代表であるということ意識し、誠実な行動をとる、お互いを尊重する、といった基本的なことを「礎」としてぜひ大切にしてほしい。

■キャリアを重ねる上で意識してほしいこと

これからの人生で、当社で働く時間は大きな割合を占める。だからこそ、当社で充実した日々を送りながら成長し、未来を切り拓く力を培ってほしい。この力を身につけるために2つのことを意識してほしい。

一つは、自分の未来をイメージしたキャリアプランの策定。自身の「理想の姿」を考えよう。うえで、「理想とのギャップ」を捉え、主体的、積極的に学び、成長してほしい。

もう一つは、「変化を恐れず、常に挑戦する」姿勢。この姿勢を常に持ち続けることで会社をリードする立場になったときに、より大きな力を発揮できると思う。

住友生命は、生命保険という形のない商品を扱っている。だからこそ、企業価値を向上させる源泉は「人」である。一人ひとりが、イキイキと働き、価値を生み出していただくことを期待している。